

広島県防犯連合会令和5年度定時総会開く

防犯功労団体14団体、防犯功労者20名を表彰

公益社団法人広島県防犯連合会は、令和5年5月25日（木）、令和5年度定時総会を広島市中区のホテルメルパルクHIROSHIMAで開催しました。

定時総会には、来賓や県内26の地区防犯連合会の代表者等約40人が出席しました。

総会審議に先立ち、県知事をはじめ来賓臨席のもとに防犯功労団体10団体、功労ボランティア団体4団体、防犯功労者20名に対し、広島県警察本部長と広島県防犯連合会長連名による表彰が行われました。（4面に受賞団体、受賞者を掲載）

引続き開催された総会審議では、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、令和4年度決算書等について、報告と審議採決が行われました。

今回の総会では、広島県防犯連合会の中本弘副会長の勇退を受けて、新たに広島南防犯連合会元田賢治会長を副会長に選任しました。

総会決議では、犯罪情勢は厳しく、特に特殊詐欺被害総額が抑止目標を超えたことやサイバー犯罪や連続発生した侵入強盗事件など「社会情勢を反映した新たな形態の犯罪」が発生して、県民の安心感を脅かしている。

このため、今後も犯罪の未然防止のため知恵を絞り、各地区防犯連合会が連携して、県民、ボランティア、事業者、関係団体及び行政などとの協力・協働しながら、「日本一安全安心を実感できる広島県の実現」に寄与できるよう、より一層努力していくことを宣言採択し、審議を終了しました。



総会審議

決 議

犯罪や非行のない安全安心な住みよい社会の実現は、県民の総意である。

私たちは、「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の第5期アクション・プランに基づき、“住む人 来る人 誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現”という行動目標に、一体となって取り組んでいる。

昨年の刑法犯は、21年ぶりに増加に転じ、特殊詐欺の被害総額は、5億円を超えた。また、社会情勢を反映した新たな形態の犯罪が発生し、取り巻く情勢は大変厳しいと言える。

私たちは、知恵を絞り、犯罪の未然防止対策に力を注ぎ、県民の不安払拭に努めていく使命がある。

当会は、安全安心の担い手として、各地区防犯連合会が連携し、県民、ボランティア、事業者、関係団体及び行政などと協力・協働しながら、「日本一安全安心を実感できる広島県の実現」に寄与できるよう、より一層努力することを宣言する。

令和5年5月25日 公益社団法人 広島県防犯連合会